



# ギター講習会

ギターニュース主催

第1日

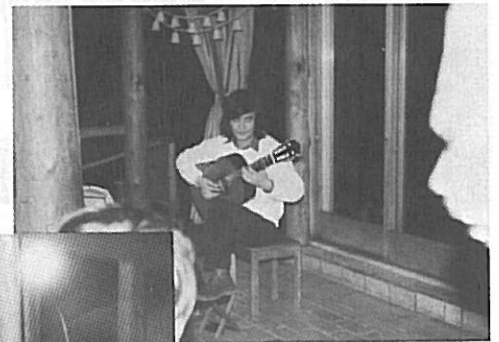


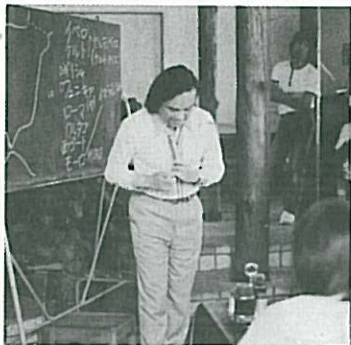
↑13日、夕方。受講者が全国各地から集合。  
開会式の1コマ。



←豪華な夕食のはじまり。

夕食のあとは石井雅子・芳志戸幹雄による  
ジョイント・コンサート。





←14日、午前中は講師浜田滋郎氏の「スペイン音楽史」



↓続いて、芳志戸幹雄の公開レッスン。

↑昼食後は、小原安正氏の公開レッスン。



↑公開レッスンでは、聴講者からも質問などが出るほど白熱し、時間超過で部屋を移す。



↓夕食後は、小原安正氏の絶妙な話に笑い声もあふれる。

スタッフによるコンサートの開幕。まず、坂→爪博、片岡よしこの二重奏。



続いて、宮本徳二が10弦ギターを披露。→



←最後に、前川博信、篠原正志による二重奏。このころには、アルコールもまわり宴たけなわ。





↑全員に「ギターニュース」からのプレゼント。



✓パーティーもいよいよ佳境に入り、飛び入り演奏。



← ついに、大御所も登場。



第3日



←カリキュラムの合い間の楽しいひととき。



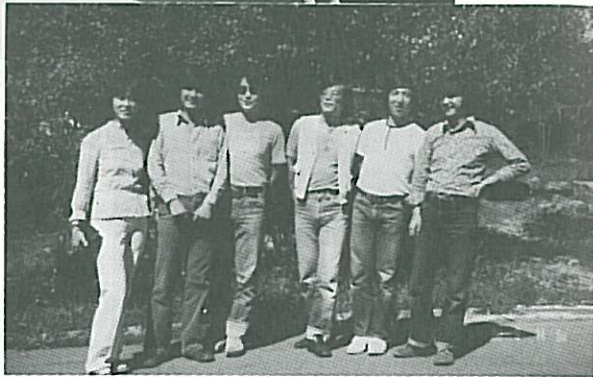
↓こちらでは、まだまだ練習。



↑講習会も無事終了。全員で記念撮影。



↑ なごり惜しみつつ解散。



↑ ここまでは、元気なスタッフ。

## ギターを愛するもののために…

東京ミックには世界の銘器がそろいます  
取扱品

V.ベディキアン、R.ブーシェ、D.フレドリック、I.フレータ  
H.y.アグアド、H.ハウザー、J.L.ロマンロス、M.ロベス  
J.B. ガルシア、P.ベルナベ、E.メンヒ、P.フィッシャー  
H.ブッフスタイナー、M.ベラスケス、K.バンヒューゼン  
J.C.ラリベ、A.マックネイル、J.オリベ、R.ガルブレイス  
H.ピーターセン、J.ラミレス、J.ヤコビ、L.A.グラナドス

星野良充、菊地正義、今井勇一、剣持良明、川田一高  
河野 賢、桜井正毅、松永仁一朗、中出敏彦、中出 治  
佐藤真比古、広瀬博彦・達彦、小森曠、茶位幸男・幸信  
横尾俊佑、牧野匡典、松井邦義、一柳一雄、他

※中古品の委託販売・下取りいたします。

※ショッピング・ローンをご利用下さい(3〜36回払い)



M. Matsunaga

**TOKYO MIC**  
株式会社東京ミック

東京都新宿区高田馬場2-14-7 新東ビル4F

☎03(208)8331<代表>

◆営業時間 10:00~18:00 日・祭日定休

## 浜田滋郎講師による "スペイン音楽の歴史"

第2日の午前9時にホールに集まると、浜田講師はすでに黒板にイベリ半島の地図を描かれていた。そして図示されたり、珍しい  
録音テープにより実際の音を流されたりしながら講議が進められていった。



イベリア半島は様々な人種の坩堝といえる。先住民はイベロ族とケルト族に始まり、これらが混合してセルティベロとなる。後、植民者のギリシャ人、フェニキア人らが入ってくる。その後、支配者のローマ人、カルタゴ人が入ってきて、ローマ(ラテン)の文化がイベリアの隅々まで行きわたる。更に後、民族大移動により北方の蛮族が侵入し、西ゴート王国を建てる。(この時代も文化はローマ文化を受け継いでいた。)また、少数のユダヤ民族が古代スペインに棲みついていた。711年にモーロ族(アラビア人:回教徒)が侵入し、約100年の間に完全に全半島を支配していた。北の方からしだいにレコンキスタ(国土回復戦)が起り1492年グラナダを最後としてモーロとユダヤが放逐される。1450年代には替ってジブシー族が入ってくる。

こうした多くの人種が集まったことと、山岳の多い地勢のため内陸の交通が不便なことなどの理由によりイベリアの文化(音楽)が多様、多彩なものとなった。

さて、イベリア最古の音楽という、各人種がいろいろな音楽を持っていたが音譜など記録がなく復元することができない。

7世紀にイシドーロという僧によって"モサラベ聖歌"が体系づけられる。これはグレゴリ聖歌とは違った古い形の宗教音楽で叙情味のある民衆的なものであった。ネウマ譜のため正確な解読はできない。

イシドーロ著"語源論"の中にキターラというのが見られるのです。7世紀にはギター様の音器があったものと考えられる。

\*\*\*テープ\*\*\*

モサラベのキリエ(11世紀の作品)

● 蓼科での講習会にお集り下さった各地の皆様、本当にありがとうございました。

私メ、講習会の後、いくつかのコンサートが続いたこともあり、とうとう丸一日ダウンしてふとんから出れず、……こんなことはめったにないのですが……現在、禁酒中です。(もっともこの号が出るまで続いているかどうか。)

とに角、楽しい蓼科の三日間でした。

本当に有難うございました。 芳志戸

● 健康の為にと思い禁煙をし始めてから3ヶ月もたちました。禁煙！なんとイカツイ感じがしますが、たいして意志の強くない自分にも出来る事が分り、なんだか拍子ぬけています。ところが、困った事に、なぜか食事がうまくなって、身体が太目になって来るんです。あんまり太ってはかえって健康の為に良くないようですし、さりとて食べない訳にはいかないし、という具合で、タバコの事は忘れてるんですが、今度は食欲をおさえる方が大変で困っています。

考えてみれば、節酒、節煙が出来れば、健康の事などさほど思わなくても良い訳で、節制する方が、やるより強い意志が必要なようです。慣れない事を急にやると、かえって身体に良くないようですな。 坂爪

● 秋ともなると結構演奏会が多く、少々無理な練習をしてしまい、指を痛めてしまいました。ケンショウ炎ではと、ピクピクしましたが、単なる疲れでした。皆さん、練習は、コンスタントに毎日しましょうね……。 モロ

最近、本誌のバックナンバーについての問い合わせが大変多くなりました。バックナンバーを御希望の方は、現全書留にて編集部までお申し込み下さい。(送料は一冊につき40円です)

● 台風一過の蓼科で仰いだ天の川、デネブ、ヴェガ、アルタイル。双眼鏡に映ったアンドロメダ星雲……。たて込んだ中の小さなひとつの窓から汚れた空を覗いている日常には、これほどの広大な世界に棲んでいることを殆んど忘れきってしまっている。自然の世界に近寄って過ごした講習会の日々が、そうしたことを思い出させてくれたようで……。 片岡

● 恒例の釣りの話ですが、今小アジ釣りに熱中しております。本牧辺りでは今年は成長が悪く、極小アジで食卓にのるようなものは、仲々むずかしい。毎回歩きで釣場まで行きますが、1時間15分かかるので、(実は空気入れが悪いので、自転車を使用出来ない) ちょっとした運動になります。競歩とはいきませぬが、一刻も早く釣りたいたい一心でかなりの速足となりますので……。11月号が出る頃は高級魚サヨリのシーズン!! またまた忙しい毎日になりそうです。 徳二

● 講習会が無事終了、今月号にはその報告を載せようと張り切っていましたが、疲れをとる暇もなく原稿の締切が来てしまい、スタッフ一同あわてています。講習会の特集には写真を多くしましたので、楽しい雰囲気味わってもらえると思います。 前川

月刊 ギターニュース  
 昭和55年11月1日発行  
 発行所 社団法人日本ギター連盟  
 〒164 東京都中野区中野 2-21-4  
 TEL 03(383)1819  
 発行責任者 莊村正人  
 編集責任者 芳志戸幹雄  
 印刷 銀座印刷  
 定価 200円

# 音楽する喜びをあなたに

—ギターラ社にお任せ下さい—

大衆ギター  
 国産手エギター  
 輸入高級ギター  
 リュート、ピエラ  
 チェンバロ  
 バイブオルガン  
 リコーダー  
 ヴィオラ・ダガンバ  
 トラベルソ  
 他古典楽器  
 楽譜・弦・備品



ギター教室  
 \*クラシック  
 今野有二(木)  
 篠原正志(金)  
 浜田三彦(出)  
 小山勝田(田)  
 リコーダー教室  
 大竹尚之(木)  
 飯室謙(木)  
 品川治夫(金)(出)  
 チェンバロ教室  
 秋光豊子(木)  
 及川真理子(木)  
 入会随時  
 初心者歓迎



ギターラ社 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-21 ☎(03)409-3395  
 東京古典楽器センター 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-19 ☎(03)409-3396